神奈川県立茅ケ崎支援学校だより
きらめき
令和８年度 No. ３（通算 133 号）
令和８年 11 月２日発行

2学期の折り返し地点です！

夏から秋そして晩秋へと季節が移ろう中、あっという間に２学期も折り返し地点を迎えました。子どもたちは元気いっぱいに学校生活を送っています。９月、10 月は修学旅行、宿泊学習、遠足、校外学習など多くの行事があり、校外での学びの機会を重ねました。

また、高等部の生徒は、３週間の実習期間を終え、卒業後の自立と社会参加に向け、一段と成長した姿を見せてくれました。子どもたちは、まさに**実りの秋**を迎えています。

２学期後半の季節は寒さが増し、空気も乾燥して、さまざまな感染症のリスクが高まります。うがい、手洗い、室内の換気を忘れずに、体調管理をしっかりしていきたいですね。

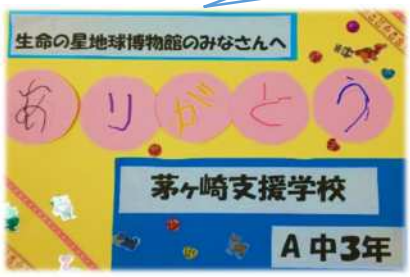
【修学旅行】
肢体不自由教育部門中学部　　生命の星地球博物館、箱根方面　１泊２日

【宿泊学習】
肢体不自由教育部門小学部５年　校内宿泊
高等部１年　校内宿泊
知的障害教育部門　小学部５年　ズーラシア、あゆみ荘
高等部２年　横浜方面

【遠足】　肢体不自由教育部門小学部１･２年　里山公園

【校外学習】　各学年で、それぞれのねらいのもと、電車の利用や買い物、レクリエーションや音楽鑑賞、進路学習などさまざまな取組をしました。

案内してくださった学芸員さんへ感謝のお手紙を送りました



それぞれの行事は、学校の教育課程の中に位置づけられ、教室の外で実際の体験を通じて学ぶ大切な機会となっています。子どもたちは、日常の授業では得られないことに触れ、五感を使って学びを深めました。また、これまで学校で学んできたことを社会の中で生かし、仲間と協力しながら公共の場でのマナーを学ぶ大切な機会としています。教員や仲間とのふれ合いを深めながら、楽しい思い出を作り、生活の幅を広げていくことを大切にしています。こうした体験は、子どもたちの豊かな心や考える力を育て、学校生活をより充実させるために欠かせないものとなっています。保護者の皆さまには、行事に向けて、準備の段階からさまざまなご協力をいただいており、感謝いたします。これからも、子どもたちの可能性を広げるために、引き続き、温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



地域とともにある学校

茅ケ崎支援学校では、地域にあるさまざまな資源を活用しての教育活動を行っています。茅ヶ崎市保健所によるいのちの安全教育や海上保安庁による出前授業。麹屋「米の花」との味噌作り、柳島「凧保存会」との凧作りなど･･･。

これらを通して、共生社会の実現に向け、その一翼を本校が担っていければと考えています。　　（校長）

制作：みんなとつながる会「ちっぷときらら」の皆さん
９月～10 月は小出川の彼岸花とハロウィン　季節感あふれる展示をいつもありがとうございます。子どもたちも楽しみにしています。